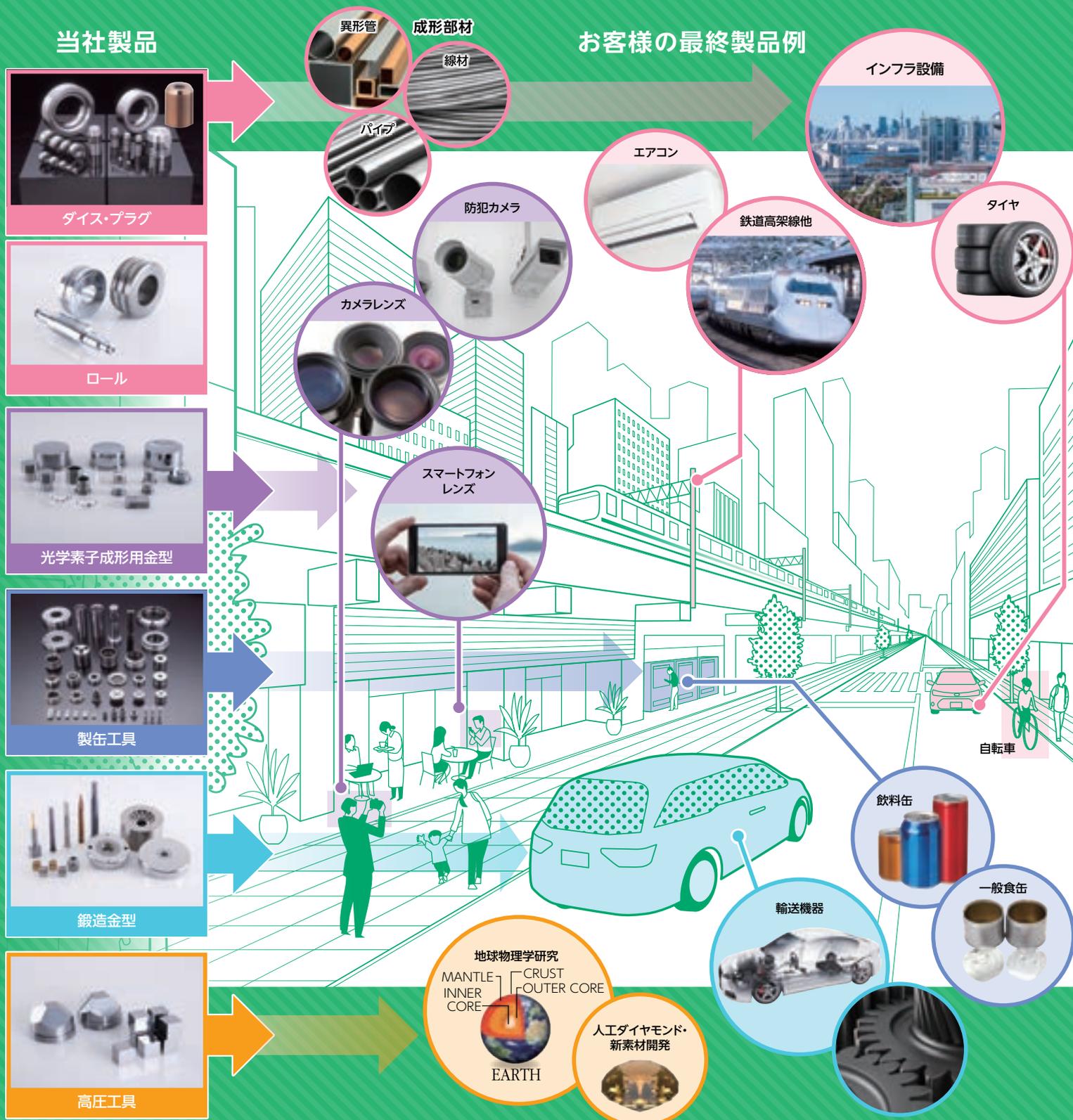


### 超硬耐摩耗工具業界トップシェア

## モノづくりを通じて広く社会に貢献する





## 創業75周年を迎え、 新中期経営計画のもと、 100年企業を目指して 持続的な成長の実現と株主還元の 充実に取り組んでまいります。

代表取締役社長

春田善和

平素より株主の皆様にはご支援を賜りまして、心より御礼申し上げます。この度、1月1日付で代表取締役社長に就任いたしました春田 善和です。より一層、社業の発展に一意専心努力いたす所存ですので、何とぞよろしくお願い申し上げます。

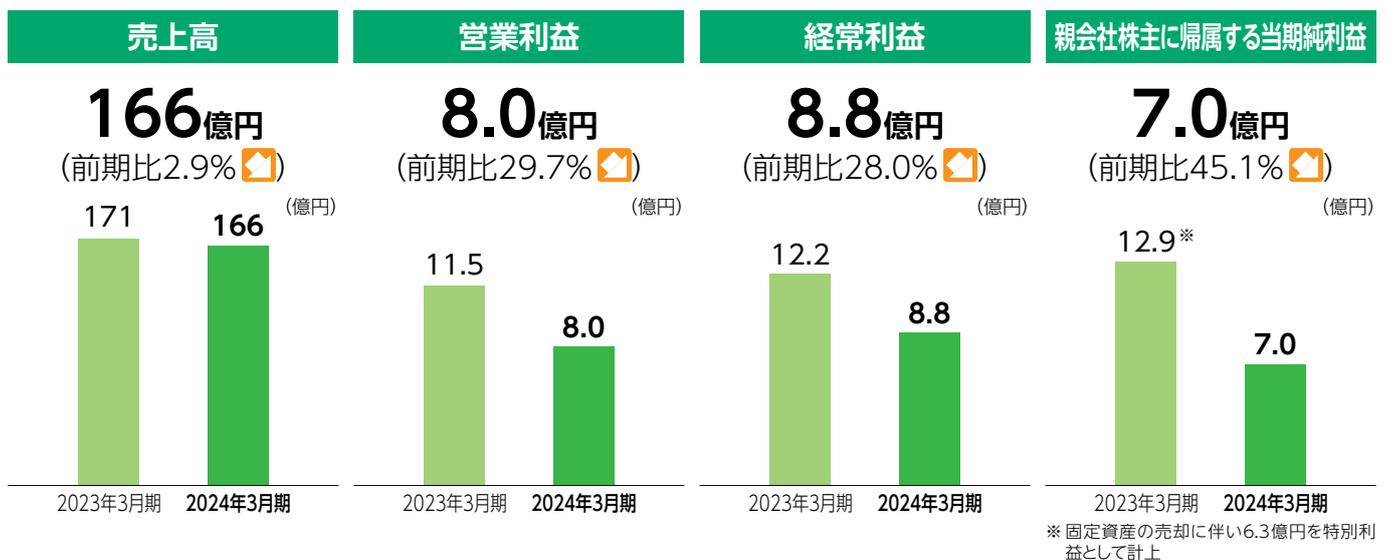
当社グループは今年6月6日に創業75周年を迎えました。これもひとえに、株主の皆様のご支援の賜物と心より感謝申し上げます。当社グループは、「粉末冶金技術」「超精密加工技術」という技術に磨きをかけることで他社と差別化し、「超硬耐摩耗工具」で30%以上のシェアを誇るトップメーカーとして順調に業績を伸ばし、4分の3世紀という長きにわたって黒字経営を継続してまいりました。

今後、100年企業を目指して持続的な成長を実現するためには、変化が激しく、将来予測が困難な時代に対応してい

なければなりません。スピード感を持って新たな市場を開拓すべく、「変化に対応できる企業体質への転換」を方針にかけ、2025年3月期からの3年を対象とする新たな中期経営計画を策定いたしました。

2024年3月期までの前中期経営計画の目標数値は未達となりましたが、熊本製造所冶金棟のリニューアル、ガラス成型用金型材料【フジロイトR05】の「モノづくり賞」並びに「技術功績大賞」受賞、中国での新営業所の開設など、新たな成長基盤の構築を進めることができました。当社グループは、新中期経営計画のもと、持続的な成長の実現と株主還元の充実に取り組んでまいります。

株主の皆様には、今後も一層のご理解・ご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



期末配当

**32円**

配当方針

当社は今年6月6日に創業75周年を迎えました。これまでの株主の皆様のご支援に感謝の意を表すため、2024年3月期の期末配当において、1株当たり10円の記念配当を実施し、普通配当22円に記念配当10円を加え、1株当たり32円といたしました。

## 熊本製造所 冶金棟をリニューアル、見学ツアーを実施



熊本製造所(熊本県玉名郡)の冶金棟をリニューアルし、昨年11月20日に新冶金棟見学ツアーと竣工披露会を執り行いました。地元、熊本県玉名郡南関町町長の佐藤安彦様をはじめ熊本県の企業誘致ご担当者様など、ご来賓として総勢20名様にご出席いただきました。

熊本製造所は、国内7カ所の生産拠点の1つで、複雑形状の高付加価値製品を生産しております。今回のリニューアルで、DX化による省人化やレイアウトの最適化による生産性向上と粉末冶金技術(粉末・成形・焼結)の強化を図り、生産能力の最大化を目指します。

## 2023年 第66回十大新製品賞において「モノづくり賞」を受賞

日刊工業新聞社主催の「2023年 第66回十大新製品賞」において、当社のガラス成形用金型材料【フジロイTR05】が、「モノづくり賞」を受賞しました。

十大新製品賞はその年に開発・実用化した製品から選定されるもので、【フジロイTR05】により、高性能ガラスレンズの安定的な量産が可能となったことが評価されました。なお、【フジロイTR05】の開発につきましては、日本機械工具工業会主催の「2023年度日本機械工具工業会賞」において、最高栄誉の「技術功績大賞」も受賞しております。



## 中国 華南エリアの東莞に新しい営業所を開設

中国の現地子会社である富士模具貿易(上海)有限公司は、新たな営業拠点を広東省・東莞市に開設し、本年3月1日より営業を開始いたしました。

東莞市は、エレクトロニクス産業を中心に発展してきたことから電子部品関連の加工メーカーが多く、また、隣接する広州市や深圳市が自動車産業拠点であることから自動車関連の加工メーカーや次世代自動車関連企業も集積しています。新たな営業拠点の開設により、さらなる成長を目指してまいります。

## ESGの取り組み

### Governance ガバナンス

## 初の女性社外取締役を選任

当社グループでは、企業価値の持続的な向上を図る基盤として、コーポレート・ガバナンスの継続的な強化を経営上の重要課題としております。このたび、取締役会の構成を検討し、経営の透明性と多様性の確保の観点から本年6月25日開催の定時株主総会において、弁護士としての豊富な経験と企業法務に関する高い専門的知見を有し、ダイバーシティの視点からも卓越した見識を持つ中村 美智子氏を新たに社外取締役として選任しました。



## 第68回 定時株主総会決議ご通知について

本年6月25日開催の当社第68回定時株主総会の決議ご通知を当社ホームページに掲載しております。

詳しくは  
こちら▶



# 新中期経営計画

## 前中期経営計画(2022年3月期~2024年3月期)総括

### ■数値目標

2022年3月期、2023年3月期は目標数字を達成し計画どおり進捗しましたが、2024年3月期は、中国経済の停滞や、自動車部品メーカーの在庫調整等により、素材や金型の販売が低調に推移したことから、業績指標はいずれも計画を下回りました。

※前中期経営計画策定時の当初計画(連結売上高170億円・経常利益率9.1%・経常利益15.5億円・ROE5.7%)を2023年5月15日に修正

	2024年3月期	計画*	実績
■連結売上高	178億円		166億円
■営業利益	11.7億円		8.0億円
■経常利益率(経常利益)	6.9%(12.3億円)		5.3%(8.8億円)
■ROE	4.3%		3.5%

### ■振り返り

#### 1 生産性向上・業務効率化

- 熊本製造所 冶金棟をリニューアル、本格稼働
- 岡山製造所に新CIP装置を導入
- 郡山製造所の冶金作業に自動化ロボットを導入
- 加工条件を最適化するとともに標準化することで、作業効率を向上

#### 2 次世代自動車への対応・拡販

- 電磁鋼鉄の抜き金型において、モーターコア金型用新素材【フジロイVG48】の市場での認知が広がり採用顧客を拡大
- 車載電池用金型については中計2年目までは順調に売上を拡大したものの、顧客の生産地変更により大幅に減少
- 回生ブレーキなどの制動装置関連品用金型の拡販を推進

#### 3 新成長エンジンの創出

- 2023年11月に郡山製造所に先端加工開発部を新設
- 高性能レンズ成型に適した高熱膨張合金【フジロイTR05・TR30】の販売を本格化

#### 4 海外事業の強化

- 2023年7月に海外事業本部を設立、担当役員を擁立
- 2024年3月に中国の東莞に新たな営業所を開設

上記4つの重点施策の実施に加えて、機関投資家・個人投資家向け説明会の実施、各種メディアやホームページを通じた積極的な情報発信、増配を含めた株主還元の実施、当社の課題や今後の取り組みに関する理解促進等を目的とした株主様とのコミュニケーションの強化等に取り組んだ結果、2023年12月末時点において、プライム市場の全ての上場維持基準に適合することができました。

### 脅威

- 日本の人口減少、高齢化、慢性的な低成長
- 資源価格高騰、世界的なインフレ
- 原材料調達リスクの高まり
- 地政学的リスクの高まり

## 富士ダイスグループを取り巻くビジネス環境

### 機会

- サステナブル社会実現要請の高まり
  - 脱炭素社会への移行(次世代自動車への転換を含む)
  - 自然環境(資源・生物多様性等)の保護
  - 人的資本経営
- DX技術の進展、社会実装の加速

## 財務戦略・株主還元

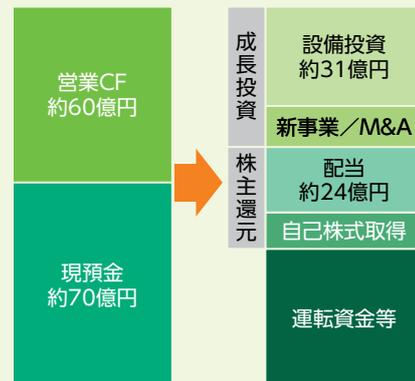
### 株主還元

PBR1倍実現のため、財務の健全性を維持しつつ、成長投資と株主還元の両方を追求する観点から、「中期経営計画2026」の期間における配当を、財政状態及び経営成績を勘案したうえで「株主資本配当率(DOE)4%」を目途とし、加えて積極的かつ機動的な自己株式取得を行うことで、利益還元を行っていくことといたしました。

### キャッシュアロケーション

- 財務の健全性を維持しつつ、成長投資と株主還元の両方を追求
- 積極的なIT、自動化への投資で経営効率を向上させ、将来のキャッシュ創出能力を高める

### 中期経営計画2026キャッシュアロケーション

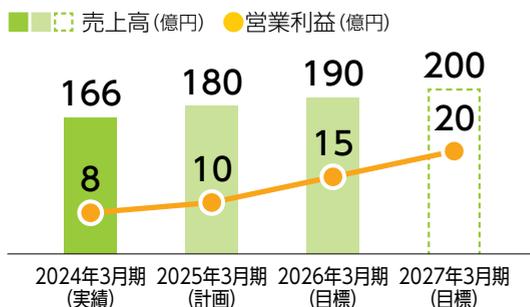


# 中期経営計画2026 (2025年3月期～2027年3月期)

## ■数値目標(2027年3月期)

連結売上高	営業利益	経常利益率	ROE
200億円	20億円	10.5% (経常利益21億円)	7.0%

当社は、資本コストや株価を意識した経営の実現と中長期的な企業価値の向上を目指し、2025年3月期からの3年を対象とする「中期経営計画2026」を策定しました。変化の激しい環境のもと顧客と社会の期待に応え成長し続けるため「変化に対応できる企業体質への転換」を中期方針に掲げ、国内事業は成長の基盤(安定的に成長)とし、成長を牽引するのは海外事業、将来の成長基盤の育成として新事業の実現という方向性を定め、持続的な成長に向けた施策に取り組んでまいります。



## ■成長戦略 変化に対応できる企業体質への転換

### (1) 経営基盤の強化

- サステナビリティ経営の推進 (環境・社会課題解決への貢献、人的資本投資の強化、ガバナンスの充実)
- 「あらゆる情報の見える化」、「お客様との接点強化」を進めるためのIT活用を含めた営業活動の強化
- データ化の推進、データに基づく意思決定の高度化
- ブランドイメージの社外浸透やインナーブランディングの強化

### (2) 生産性向上・業務効率化

- 国内営業部門における営業活動体制の再構築
- 国内生産部門におけるロボット化等による自動化・省人化
- 基幹システムの刷新、ワークフロー導入等によるデジタル化
- 不採算製品の収益改善

### (3) 海外事業の飛躍

- 次世代自動車関連製品の積極展開
- 商社や現地の加工メーカーとの積極的な協業による顧客開拓
- インド・北米地域における拠点設置を含めた活動強化
- 海外製造拠点の生産性向上

### (4) 脱炭素・循環型社会への貢献

- モーターコア用金型材種のラインナップ拡充
- 次世代エネルギー分野に向けた触媒関連製品の開発
- 省タングステン・コバルト合金の拡販
- 温室効果ガス排出量の削減
- 超硬工具・金型のリサイクル強化

### (5) 新事業の確立

- 新規事業組織を発足予定 (2024年7月)
- 新規事業の早期実現に向けたM&A、業務提携の実施

## サステナビリティ

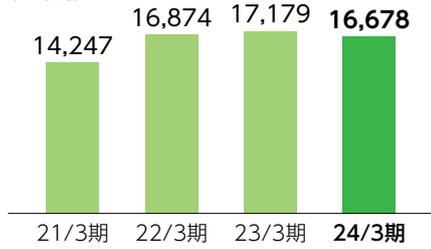
当社グループは、サステナビリティに関する施策の立案や推進を専門に行う「サステナビリティ推進室」を設置し、サステナビリティに関する課題を経営層と共有し、その解決のための検討及び有効性評価の場として、「サステナビリティ委員会」を年4回(4月、7月、10月、1月)開催しています。また、サステナビリティ全般に関する戦略として、企業価値の向上と持続可能な社会の発展に向けて、サステナビリティ基本方針に基づき優先的に取り組むべき10項目の優先課題(マテリアリティ)を特定し、その達成に向けて取り組みを進めてまいります。

	優先課題
環境 (自然環境配慮)	高付加価値製品・技術の開発
	カーボンニュートラルへの取り組み
	省資源化への取り組み
社会 (人権/労働環境)	人権の尊重
	労働環境の整備
	多様性を活かした働き方改革 従業員との良好な関係性の確保
ガバナンス (ガバナンス強化/腐敗防止)	ガバナンスの強化
	危機管理対応の強化
	コンプライアンス体制及び教育の充実

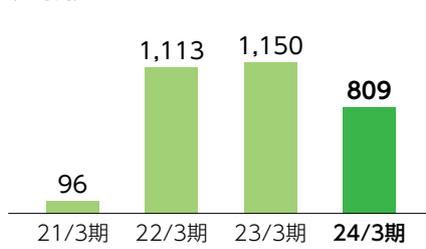
# 会社概要 / 株式の状況

## ■連結決算データ

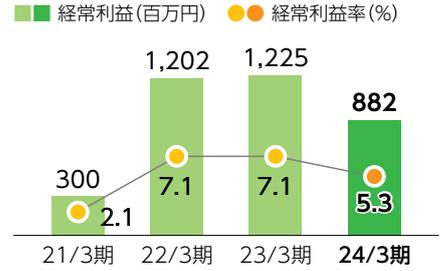
売上高  
(百万円)



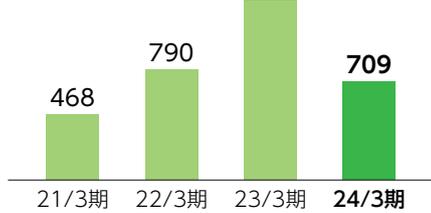
営業利益  
(百万円)



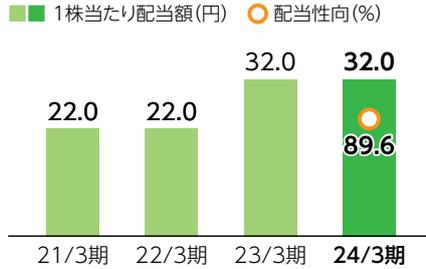
経常利益 / 経常利益率



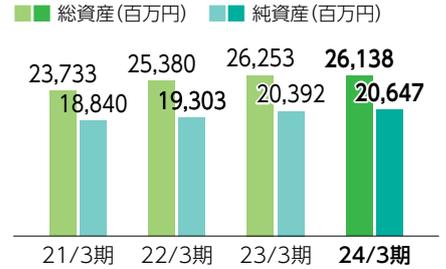
親会社株主に帰属する  
当期純利益  
(百万円)



1株当たり配当額 / 配当性向



総資産 / 純資産



## ■会社概要 (2024年3月31日現在)

社名 富士ダイス株式会社  
創業 1949年6月6日  
本社所在地 〒146-0092 東京都大田区下丸子2-17-10  
資本金 164百万円  
拠点 営業拠点10 生産拠点7  
グループ会社 国内2社 海外5社  
従業員 1,106人(連結)

## ■役員一覧 (2024年6月25日現在)

役職	氏名	社外取締役
代表取締役社長	春田 善和	澤井 英久
常務取締役	津田 雅宣	上田 典由
海外事業本部長	篠宮 護	中村 美智子
取締役 技術開発本部長	馬渡 和幸	古谷 高宏
取締役 生産本部長 兼 生産管理本部長	松岡 恭弘	内田 伊知郎
取締役 営業本部長	高安 真生	江口 泰志

## ■株式の状況 (2024年3月31日現在)

発行可能株式総数 80,000,000株  
発行済株式総数 20,000,000株  
株主数 6,623名(前年同期末比390名減)

所有者別株式分布



## ■株主メモ

事業年度 毎年4月1日から3月31日まで  
定時株主総会 毎事業年度終了後3ヶ月以内  
株主確定基準日 毎年3月31日  
剰余金の配当基準日 毎年3月31日及び9月30日  
株式の売買単位 100株  
証券コード 6167  
上場証券取引所 東京証券取引所 プライム市場

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社  
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
株主名簿管理人連絡先 東京都府中市日鋼町1-1  
電話 0120-232-711(通話料無料)  
郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号  
公告方法 電子公告により行います。ただし電子公告によることのできない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して行います。  
公告掲載URL <https://www.fujidie.co.jp/>

## ■IRカレンダー



第68回定時株主総会より、サマリー版招集通知を郵送させていただいております。招集通知の電子化にご協力いただきありがとうございました。

富士ダイス株式会社

〒146-0092 東京都大田区下丸子2-17-10  
TEL:03-3759-7182 <https://www.fujidie.co.jp/>



トップページ



投資家情報



本株主通信に記載されている事項には、将来についての計画や予想に関する記述が含まれています。実際の業績は、当社の予想と異なることがありますので、ご承知おきください。